

WINDS CAFÉ 253

2018年1月28日 @カーサ・モーツアルト
津田宗明作曲個展—音楽のある風景

プログラム：

1. 「海峡」(2012) (sop, vln) (今野裕紀・詩)
2. 「冬」「檻樓」(2016) (sop, pf) (谷川俊太郎・詩)
3. 「ものがたりⅡ」(sop, pf)
「ねむりのもりのはなし」(2017・初演) (sop, vln) (長田弘・詩)
4. 「If my bark sink」(sop, pf) 「Yesterday is History」(2017・初演)(sop, vln)
(Emily Dickinson・詩)
5. 「ひとり」(sop, vln) (2017・初演)
6. 「呼びかけうた」(sop, pf) (2012) (今野裕紀・詩)

～休憩～

7. 「斑鳩宮半跏思惟像」(2015) (pf)
8. 「三つの物象」—「 α 」「 β 」「 Ω 」(2017・初演) (vln)
9. 「斜光」(2017) 「夜の肖像」(2017・初演) (pf)
10. 「ある種のバガテル」(sop, vln, pf)、
「ガラスの環」(sop, vln) (2015)
「消えていく Poesiè」(2017・初演) (sop, pf) (北園克衛・詩)
11. 「孤独のディストピア I & II」(2016) (vln, pf)

個展開催について

本日は私の作曲作品個展開催の運びとなりまして、主催して下さる WINDS CAFÉ の川村龍俊様、カーサ・モーツアルトへご来場下さったお客様、また演奏下さるメンバーの皆様、その他応援下さる方々に心より御礼申し上げます。

私自身 30 数年生きて参りまして、結果的に今やっている事、即ち作曲、が他のあらゆる事の中でも一番難しいと感じており、そうした難しさに手応えを感じながら生きられる事を幸せに思ってもいます。

五線譜に並べられた音符がどうしてそれを書いた人の心を映し出すのかという謎は、今に至って分かっていませんが、こうした「表現」が出来る事、またそれが演奏家の手に渡り実際の音となり、それを聴く事が出来る事をこの上ない喜びと感じています。

エミリー・ディッキンソン（英詩）について

19世紀アメリカの詩人・エミリー・ディッキンソンは生前、全く無名で死後、遺族の手によって詩集が出版された。彼女は詩「I'm nobody (私は何者でもない)」の中でこう言っている——I'm nobody! Who are you? Are you nobody too? (私は無名！あなたは？あなたも？)

考えてみると、自分の名前を恥ずかしげもなく公表し、作品の作者として宣伝し、売り込む「個展」とは見方によつてはエミリー・ディッキンソン風に言えば「蛙」の如くけたたましいだけなのかも知れない。

音楽について言えばそれは誰か（作者が居ても）に所属するものではないし、寧ろその誰かが音楽という現象に所属するものとさえ言えるだろう。

主体と主体同志が出会う場・現象としての音楽である限り、名とは呼び、呼ばれるものであつて自らの名を宣伝するだけのものではない。また一方で作品とは「特定の誰か」を対象に語るものでもないだろう。

話はやや飛躍するが、ディッキンソンのように「私は無名！あなたは？」と読みながら、もう彼女は「有名」である。しかも彼女は無名のまま、有名である。「もしも小舟が沈むなら、その小舟は違う海へと行くだろう。（肉体の）有限性の地上階は（精神の）永遠性...」

私の個展に当て嵌めてみるならば、それは「蛙の合唱」なのか？それとも小舟の底に永遠性を孕んだような無名なる者の叫びであるのかどちらだろう？願わくは後者であらん事を。

If my Bark sink

わたしの小舟が

If my Bark sink

わたしの小舟が沈むなら

'Tis to another Sea

そこはもうひとつの海です

Mortality's Ground Floor

死ぬことの第一段階

Is Immortality

それは永遠を生きることです

Yesterday is History

Yesterday is History,
‘Tis so far away –
Yesterday is Poetry –
‘Tis Philosophy –
Yesterday is mystery –
Where it is Today
While we shrewdly speculate
Flutter both away

昨日は歴史

昨日は歴史
それは遠いにある
昨日は詩
それは哲学である
昨日は神秘
どこに今日がある
そつなく考へているあいだに
どちらも羽ばたいて去る

I'm Nobody! Who are you?

I'm Nobody! Who are you?
Are you – Nobody – too?
Then there's a pair of us!
Don't tell! they'd advertise –
you know!

わたしは誰でもない

わたしは誰でもない
あなたは誰ですか
あなたも 名無しさん ですか
それなら似た者どうしだわ
秘密にしてね ばれたら ただではすまないから
お偉いさん になるなんて うんざり
おおっぴらですよ 蛙みたいに
六月のあいだ 名前をとなえつづけるなんて
もてはやす泥沼なんかに

プロフィール：

津田宗明（つだ・むねあき）

1981年アメリカ生まれ。高校卒業まで日本、アメリカ、オーストラリアで過ごす。2004年東京音楽大学作曲科卒業。ピアノを上原陽子、作曲を西村朗、伊左治直の各氏に師事。在学中は横山勝也主宰「国際尺八研修館」にて研鑽を積む。

2013、2014年武生国際音楽祭参加。2015年第一回『Details』展覧会にてオープニングの為の音楽を作曲。2016年にはBuncademyにて自作品のプレゼンテーションを行う。2011年より『思想時代』『夜の小音楽会』などを主宰。

現在、西新宿カルチャープラザ及び産経学園吉祥寺校ピアノ講師。

薬師寺典子（やくしじ・のりこ）

東京芸術大学声楽科卒業。ベルギー政府給費奨学生としてベルギーで学ぶ。ブリュッセル王立音楽院修士課程修了。2012年度上半期、2013年度下半期野村財団奨学金奨学生。ベルギーアンソペラコンクール入賞。

これまでにラヴェル「子供と魔法」子供役(リエージュ王立歌劇場)、パーセル「ディドとエネアス」侍女役(アントワープ deSingel 劇場)、モンテヴェルディ「ポッペアの戴冠」ヴィルトゥ役(ロンドン John Mackintosh アートセンター)等のオペラに出演。ベルギーアルスムジカ現代音楽祭、スペインシルガ現代音楽祭に出演。

トキヨーワンダーサイト「若手の為の現代音楽企画ゼミ」より選出され「声の逆襲～声楽家キャシーバーベリアンの革命～」を企画、出演(東京文化会館小ホール)。E・サティ交響ドラマ「ソクラテス」(東京芸術大学奏楽堂)、ヴォクスマーナ第35回、36回定期演奏会(東京文化会館小ホール)の他、公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人ロームミュージックファンデーションの助成を受け、「日本ベルギー友好150周年記念演奏会」を企画、出演(JTアートホールアフィニス)。

これまでに大島洋子、佐橋美起、マリアンヌ・プッサー、ペギー・ブーヴレ、平山美智子、櫻田亮の各氏に師事。

<http://www.norikoyakushiji.info/ja/>

迫田圭（さこだ・けい）

東京音楽大学大学院に給費奨学生を得て入学、卒業。東京音楽大学コンクール入選、第28回市川市新人演奏家コンクール弦楽器部門最優秀賞。ロリエ弦楽四重奏団としてプロジェクトQ第10章に参加。

若手作曲家の新作初演にも数多く携わっており、サントリーサマーフェスティバル内の芥川作曲賞選考演奏会ではソリストを務める等、精力的に活動している。

現在、東京音楽大学ピアノ伴奏科演奏助手。これまで、バイオリンを大熊庸生、安富洋、景山誠治、木野雅之、荒井英治、各氏に、作曲を伊左治直氏に師事。

大須賀かおり（おおすが・かおり）

桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒、同大学アンサンブルディプロマコース修了。第4回日本クラシック音楽コンクール全国大会特別賞。第9回日本室内楽コンクール第2位。

2001年、デュオ“ROSCO”を結成、第5回現代音楽演奏コンクール“競楽V”優勝、第12回朝日現代音楽賞受賞、2003年度青山バロックザール賞受賞、2010年、現代音楽アンサンブル“mmm...”を結成、東日本大震災義援音楽配信プロジェクト・ヒカリを通して世界から100人の現代音楽作品を録音、配信。2012年、“KOHAKU”を結成、知られざる歌や子供のための歌の紹介。同年、“リレーション'70”を結成、室内楽'70の全委嘱作品を再演。2013年よりコンサートシリーズ ROSCO's Atelier を開始。

これまでに北京国家交響楽団との共演、韓国大邱国際音楽祭等多数出演の他、桐朋学園大学、国立音楽大学、北京中央音楽院、上海音楽学院でのレクチャーコンサート、東京・名古屋でのソロリサイタル等幅広く活動。世界初演、日本初演数は300曲を超える。ジパングレーベルより4枚のアルバム、楽譜集をリリース。

日仏現代音楽協会会員、日本・フィンランド新音楽協会会員。桐朋学園芸術短期大学、神奈川県立弥栄高校芸術科非常勤講師。

<http://kaoriohsuga.com/profile.html>